

## アピール——立憲主義をとりもどし戦争させない国づくりのため

# さらなる前進をめざしましょう！

2018年3月1日 東京1区市民連合呼びかけ人会議

私たち東京1区市民連合は、2017年10月22日投票の第48回衆議院議員総選挙において、市民と野党共闘の統一候補として立憲民主党の海江田万里さんを応援しました。海江田さんは東京1区において、自民党の前職を破って当選されました。この選挙は立憲主義を取り戻し、戦争させない、いのちと暮らしを守る戦いであり、この勝利は限りなく大きな意味を持つものであったと確信します。

安倍暴走政治を止めようと、「市民と野党の共闘」の重要性が叫ばれ、私たちはその声に押されて2017年2月に「東京1区市民連合」を立ち上げました。市民連合には、東京1区在住のみなさんをはじめ、東京1区にふさわしく、大学の教職員のみなさん、学生のみなさん、弁護士のみなさん、労働組合関係のみなさん、企業家のみなさん、そして市民団体のみなさんなど多様な方々が結集しました。

並行して、野党4党（立憲、共産、自由、社民）による協議も行われてきました。野党の動きと市民の動きが統一され、「東京1区市民連合」が誕生したのです。以降、この運動への賛同を呼びかけ広げる活動を展開しました。その最中に「大義なき解散・総選挙」が行われたのです。

運動の緒に着いたばかりの段階での総選挙でしたが、市民連合、海江田万里候補および立憲野党との間で12項目の基本政策を結ぶことができました。基本政策は立憲主義の回復をめざすとともに、「秘密保護法、安保法制、共謀罪法の廃止」「安倍改憲反対」「核兵器禁止条約への参加」「女性に対する賃金格差、雇用差別反対」「若者の学び働く環境の整備」など、平和と民主主義、暮らしを守るものとなっています。私たちは、海江田議員誕生に安んじることなく、これら12項目の実現をめざす取り組みをさらに進める必要があると考えます。

その立場から、東京1区市民連合のさらなる発展と12項目の基本政策実現めざし、この運動への賛同人および呼びかけ人を改めて増やすことにしました。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いするものです。

安倍改憲を阻止し、立憲主義を取り戻すためあなたの力をお貸しください。